KAE Knowledge Ability Experience
経営に心と道を

ご招待

シンポジウム

「新たなる経営、新たなる道への提言」

第63期 経営道フォーラム 研究・提言発表

Keieido Forum 63th.

日時：2018年11月16日(金)13：00

ホテル椿山荘東京 1F 胡蝶

山城経営研究所

PROGRAM

第63期 経営道フォーラム 研究・提言内容

[1]
13:10
白雪姫と
七人の小人達
海老澤 栄一
コーディネーター

変化対応力を高める企業経営
“ひらめき”を“どよめき”に変える企業文化の醸成

目まぐるしく経営環境が変化する時代、企業が存続していくには変化対応力を高めることが必須である。変化対応力の源泉は人であり、人の生かし方は企業文化に従うとの前提に立ち、経営陣及び従業員全員が変化対応の起点(リーダー)になれる「全員参画型」経営が鍵であると考えた。“ひらめき”が“どよめき”に昇華する企業文化を創出し、根付かせていくことで変化対応力が高まり、企業存続が可能となる。我々はこれを「マルチサイクロン経営」と名付けその有効性を提言する。

株式会社 サラダクラブ
株式会社 りそなホールディングス
アンリツエンジニアリング 株式会社
株式会社 アンデルセン・パン生活文化研究所
株式会社 ユアテック
株式会社 JIEC
東洋鋼鈑 株式会社
株式会社 竹中製作所

[2]
13:50
AB CHAN
海老澤 栄一
コーディネーター

自然・社会環境と共利共生する魅力的経営の提言
パラドックスを受容する個の役割

持続的成長が可能な企業とはどのようなものか。それは、自然・社会環境と企業と構成員が相補の関係にあり、対立する概念すなわちパラドックスを許容し合うことで高いシナジー効果を発揮し、“ほどよい満足”な状態を創出、継続できる企業であると考える。そして、このような経営を“魅力的経営”と呼ぶ。
このフレームから、企業が発展するための自然・社会環境と企業、企業と構成員、メンバーとリーダーという個の役割を研究し、企業を構成する個とその周辺の関わりを明らかにする。

株式会社 キユーソー流通システム
エヌ・ティ・ティ・ビズリンク 株式会社
エヌ・ティ・ティ・コムウェア 株式会社
北日本電線 株式会社
株式会社 東急コミュニティー
山崎製パン 株式会社
高砂熱学工業 株式会社
鉄建建設 株式会社

[3]
14:30
“ガッツと石松”
のゆめ
大月 博司
コーディネーター

前例なき時代を生き抜く企業のマネジメントスタイルとは
自律的・持続的な企業価値創造の観点から

事業規模が大きく、長い社歴を有し、業界を代表する安定期にある企業を研究対象とし、それらの企業が陥る変革意識の低下からの脱却方法を論じる。研究では「変革意識の醸成を阻害する要因」を特定し、阻害要因の排除に必要な組織としての機能・役割を論じる。その上で、自律的で適時適切な変革を推進することができる「経営陣(チーム)」の在り方を探求し、「安定期企業にあるべきマネジメントスタイル」として提言する。

農林中央金庫
株式会社 吉野家
ニチバン 株式会社
東京急行電鉄 株式会社
新日鐵住金 株式会社
株式会社 日立マネジメントパートナー
住友生命保険 相互会社
日立キャピタル 株式会社

[4]
15:20
Well-Being
大月 博司
コーディネーター

競争力のある「幸せ企業」の研究と提案
従業員と顧客にスコープを当てて

日本企業は持続的競争力獲得の為に、欧米流のグローバルスタンダード的手法を、自社に適合する形に変換して採用、実践している。しかし、我々はその持続性に大きな懸念を持っている。その解決策として、「幸せ企業」というコンセプトを経営に適用することを提言する。具体的には、「従業員の幸せ」と「顧客の幸せ」の相互作用が、動的かつEngagementであることを「協奏」と呼び、その実現方法を考察、提言する。

株式会社 アドバンテスト
株式会社 明治
藤田観光 株式会社
株式会社 NTT データ SMS
株式会社 荏原製作所
株式会社 日立ハイテクソリューションズ
株式会社 エクサ
株式会社 ラック

[5]
16:00
山添出版
岡本 正耿
コーディネーター

イノベーションを生み出す為のインサイトプロセスの体系化

商品やサービスのコモディティ化が進む中、インサイト志向のマネジメントを真に効果的に実践している企業が継続的にイノベーションを創出し、競争優位を確保することができている。我々は「成果を出すインサイトのプロセスは体系化できる」との考えに基づき、実際にインサイト志向のマネジメントを実践している企業を研究することで、実践を可能とする組織・制度を明らかにし、それを具体的なガイドラインとして提言する。

昭和産業 株式会社
積水ハウス 株式会社
ハウス食品 株式会社
レンゴー 株式会社
富士通 株式会社
UNITED FOODS INTERNATIONAL 株式会社
株式会社 JSOL
三井住友カード 株式会社

[6]

16:40
いい「加減」な8人

岡本 正耿
コーディネーター

企業の持続的成長をもたらす「個」を生かしたマネジメント手法の確立

創発型人材を育むリーダーシップ

企業が持続的に成長していくためには、社会に貢献する新たな価値を提供し続けることが必要である。この課題を解決する一手段として「創発」に着目した。調査および研究を通じて、「創発とは、ものの見方（事象）である」との理解に至った。創発は計画的に生み出せるものではないが、発生確率を高めることはできる。我々はそのために必要な「土壌」、「人材の特性と育成」とそれを生かす「リーダーシップ」について提言する。

ヤマト運輸 株式会社
日立キャピタルオートリース 株式会社
株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ・ウェーブ
株式会社 ニチレイフーズ
株式会社 日立製作所
ニチバン 株式会社
山崎製パン 株式会社
株式会社 熊谷組

スケジュール

●会場：ホテル椿山荘東京
1F 胡蝶

●開会：13:00

●発表：13:10～17:20

●テーブルディスカッション、まとめ
…17:20～18:30

13:00	開　会
13:10	[1] 白雪姫と七人の小人達
13:50	[2] AB CHAN
14:30	[3]“ガッツと石松”のゆめ
15:10	休憩（10分）
15:20	[4] Well-Being
16:00	[5] 山添出版
16:40	[6] いい「加減」な8人
17:20	テーブルディスカッション、まとめ
18:30	閉　会

コーディネーター

神奈川大学
名誉教授

海老澤 栄一 氏

変化対応力を高める経営、魅力ある経営の探索に関する内容

神奈川大学卒業。早稲田大学大学院商学研究科博士課程中途退学。経営学博士（中央大学）。シェル石油㈱、東京電子専門学校を経て、神奈川大学教授、大学院経営学研究科委員長、経営学部長、国際経営研究所長を歴任。主に横浜市と平塚市で10を超える種々の委員会、研究会を主催。東京都では複数の一般社団法人の専門委員会に所属し委員長を歴任。主要著書：『魅力ある経営』学文社（2007年）編著、『生命力のある組織』中央経済社（1998年）、『地球村時代の経営管理』文真堂（2000年）、他多数。

早稲田大学商学学術院
教授

大月 博司 氏

効率性と社会性からみた事業経営のあり方、競争力の創出とその持続的確保に関する内容

早稲田大学商学部卒業。早稲田大学博士（商学）。北海学園大学経営学部教授を経て2004年より現職。ワシントン大学ビジネススクール客員研究員、デューク大学フクアスクール客員研究員、カーディフ大学ビジネススクール客員研究員を歴任。その他、明治大学大学院ビジネススクール兼任講師、日本経営学会常任理事、経営哲学学会常任理事、経営戦略学会会長などを歴任。主要著書：『組織変革とパラドックス（改訂版）』同文舘出版（2005年）、他多数。

㈱マーケティングプロモーションセンター
代表取締役

岡本 正耿 氏

インサイト志向のマネジメント 創発組織と創発的変革に関する内容

早稲田大学大学院客員教授、同大学ビジネススクール講師。前日本経営品質賞制度検討委員会委員長。日本能率協会マネジメントスクール専任講師。秋田県・岩手県・千葉県・三重県・茨城県・埼玉県・新潟県経営品質協議会の各判定委員長、中国地方経営品質賞委員会副委員長、会津若松市経営品質賞委員会委員長。主要著書：『要点解説マーケティング実務入門』生産性出版（2009年）、他多数。

■ 日時

2018年11月16日（金）13：00～18：30

PART1　研究・提言発表　13：00～17：20

PART2　テーブルディスカッション・まとめ　17：20～18：30

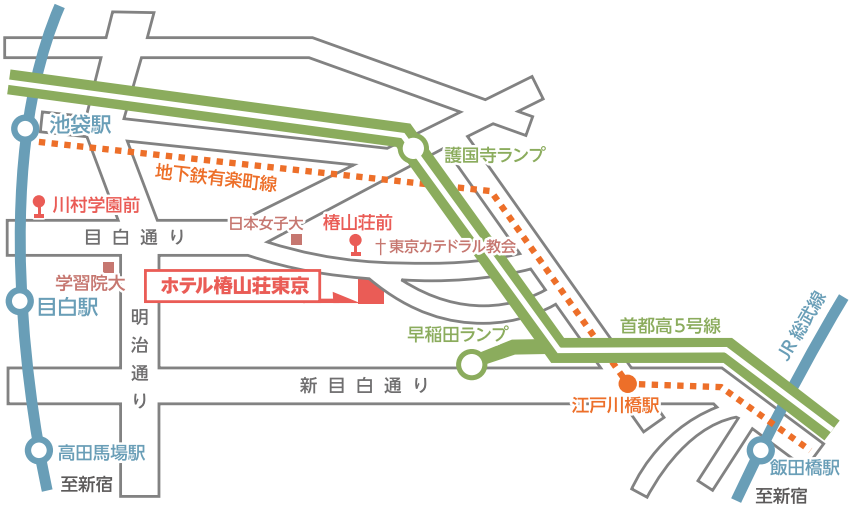
■ 場所

ホテル椿山荘東京 1F 胡蝶

〒112-8680 東京都文京区関口 2-10-8

電話：03-3943-1111（代表）

ホームページ：http://hotel-chinzanso-tokyo.jp/



■ バスご利用の場合

JR 目白駅改札口右手、川村学園前から都バス・ホテル椿山荘東京行き、
又は新宿西口行きにて「ホテル椿山荘東京」下車、約 10 分

■ タクシーご利用の場合

目白、池袋、高田馬場、飯田橋の各駅から約 10 分
※交通事情により所要時間が多少かわる場合がございます

■ 地下鉄ご利用の場合

有楽町線「江戸川橋駅」下車、1a 出口から徒歩約 10 分

■ 会費

KAE会会員：無料　一般：5,000円（消費税込）

■ 主催

株式会社 山城経営研究所

■ お申込方法

WEBにてお申し込みください。

https://survey.zohopublic.com/zs/qUBU5D

■ お申込締切

2018年11月9日（金）

■ お問合せ先

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-36 S&Sビルディング 3F
株式会社 山城経営研究所
担当：経営道フォーラム事務局　堀越 勝
電話：03-6674-1836　FAX：03-5228-1233
電子メール：horikoshi@kae-yamashiro.co.jp